

科学講演会開催実績一覧



科学講演会開催実績一覧

| 日 時 | 講演者 | 講演題目 | 来聴者数 |
|--|---|--|------|
| 第1回 (1978.11.18) 13:00~17:00 経団連ホール | 霜田 光一 (レーザー科学・主任研究員) 田村 三郎 (招聘研究員) 宮崎友喜雄 (副理事長) | レーザーの原理と応用 理研の歩みとライフサイエンス 宇宙線をつかまえる | 539名 |
| 第2回 (1979.10.25) 13:00~17:00 大阪科学技術センター | 宇野木早苗 (海洋物理・主任研究員) 松山 晃 (放射線生物学・主任研究員) 赤堀 四郎 (相談役) 三隅二不二 (大阪大学・教授) | 内海・内湾における潮の流れ 放射線の生物作用とその応用 ライフサイエンスの目標 リーダーシップ行動の科学 | 185名 |
| 第3回 (1980.10.30) 13:00~17:00 経団連ホール | 後藤 英一 (情報科学・主任研究員) 長倉 三郎 (理論有機化学・主任研究員) 柴田 和雄 (招聘研究員) | 計算機による数式処理とその応用 分子設計 —分子の構造と機能はどこまで解明されたか— 光合成と生命 | 250名 |
| 第4回 (1981.10.15) 12:30~17:30 愛知県産業貿易館西館 | 福井 伸二 (相談役) 曾田 範宗 (研究顧問) 安藤 忠彦 (微生物学・主任研究員) 田丸 謙二 (固体化学・主任研究員) | 名古屋地区とのかかわりあい トライボロジ (tribology) とはなにか 遺伝子組換えにおける酵素の活用 触媒作用はどのようにして起こるか | 198名 |
| 第5回 (1982.10.15) 13:00~17:00 経団連ホール | 吉田 清太 (変形工学・主任研究員) 島 誠 (地球科学・主任研究員) 堀越 弘毅 (微生物生態学・主任研究員) | 日本の自動車車体の鋼板とプレスとそれらの評価法 明日の資源を探し求めて宇宙と深海底へ 好アルカリ性微生物の世界 | 297名 |
| 第6回 (1983.10.18) 13:00~17:20 勾当台会館 (仙台) | 見里 朝正 (微生物薬理・主任研究員) 光岡 知足 (動物薬理・主任研究員) | これからの作物保護 —農業と食品の安全性— 成人病予防と食生活 —腸内細菌とのかかわりあいを考える— | 370名 |
| 第7回 (1984.10.24) 13:00~17:20 日刊工業ホール | 上坪 宏道 (サイクロトロン・主任研究員) 深見 順一 (昆虫薬理・主任研究員) 難波 進 (レーザー科学・主任研究員) | 理研の加速器科学の変遷と研究の現状 性フェロモンを利用した農作物害虫の防除 ビーム工学と超LSI | 294名 |
| 第8回 (1985.10.25) 13:00~18:00 九州厚生年金会館 | 豊田 浩一 (半導体工学・主任研究員) 雀部 博之 (生体高分子物理・主任研究員) 岩木 正哉 (ビーム解析室・研究員) 村田 朋美 (新日鉄第1技研特別基礎第3研所長) | レーザー科学とその応用の新しい動向 ハイブリッド材料の開発研究 イオン注入による新しい表面表層の創成 機能性材料としての錆 | 317名 |
| 第9回 (1986.10.29) 13:00~17:00 経団連ホール | 駒形 和男 (ライフサイエンス培養生物部・部長) 遠藤 勲 (化学工学・主任研究員) 井川 洋二 (分子腫瘍学・主任研究員) | 微生物の多様性 バイオリクターの最近の動向 遺伝子研究の医学への応用 | 443名 |
| 第10回 (1987.10.27) 13:00~17:00 名古屋国際サロン | 中川 威雄 (変形工学・主任研究員) 粕谷 敬宏 (マイクロ波物理・主任研究員) 坂倉 照好 (真核生物・主任研究員) | ファインセラミックスの成形と加工 レーザーの新しい応用を求めて 癌細胞は周囲と何を話し合っているか | 250名 |
| 第11回 (1988.10.20) 12:50~16:30 虎ノ門パストラル | 後藤 英一 (情報科学・主任研究員) 堀越 弘毅 (微生物生態学・主任研究員) 小田 稔 (理事長) | 磁束量子パラメトロンと超高感度磁束計 極限微生物 星空を飾る超新星の爆発 —藤原定家とマゼランとケプラー— | 450名 |
| 第12回 (1989.10.24) 12:40~17:10 富山県民会館 | 井上 頼直 (太陽光エネルギー科学・主任研究員) 青柳 克信 (レーザー科学・主任研究員) 佐田登志夫 (理事) | 植物の光エネルギー変換素子 —光合成系— 最近のエレクトロニクス材料の発展 もの造りの技術の発展と21世紀の機械工場 | 291名 |
| 第13回 (1990.10.16) 12:40~16:50 経団連ホール | 永嶺 謙忠 (金属物理・主任研究員) 磯野 清 (抗生物質・主任研究員) 青野 正和 (表面界面工学・主任研究員) | 21世紀を担う粒子、ミュオン 抗生物質と生命科学 表面科学が拓く世界 | 391名 |
| 第14回 (1991.10.29) 12:40~17:10 ホテル福岡ガーデンパレス | 谷畑 勇夫 (リニアック・主任研究員) 伊藤 正男 (国際フロンティア研究システム・グループディレクター) 国武 豊喜 (九州大学工学部・教授) | 元素創成と不安定核 —短寿命核がなければ、あなたはいなかった— 脳の不思議 超薄膜がめざす技術革新 | 333名 |
| 第15回 (1992.10.2) 12:40~17:30 経団連ホール | 小田 稔 (理事長) 八木 江里 (東洋大学工学部・教授) 菅野 卓雄 (国際フロンティア研究システムフロンティア・マテリアル研究グループ・グループディレクター) 高橋 信孝 (理事) | 21世紀を拓く研究所を目指して 日本の科学史における理化学研究所の役割 —第二次大戦前— 波としての電子と極微細構造 —ナノ・エレクトロニクス— 植物生活環の制御と植物ホルモン —ジベレリンを中心として— | 336名 |
| 第16回 (1993.10.22) 13:00~17:00 仙台市・仙台ホテル | 田崎 京二 (国際フロンティア研究システムフォトダイナミクス研究センター・センター長) 吉良 爽 (反応物理化学・主任研究員) 桜井 成 (植物生活環制御・主任研究員) | 眼と光 電子移動という単純な反応 —亀の甲ばかりが化学ではない— 花成ホルモンを追う —花芽の形成を誘導するホルモンを求めて— | 197名 |

| 日時 | 講演者 | 講演題目 | 来聴者数 |
|--|---|--|-------|
| 第17回 (1994.10.26) 14:00~17:05 ヤクルトホール | 伊藤 正男 (国際フロンティア研究システム・システム長) 御子柴克彦 (分子神経生物学・主任研究員) 甘利 俊一 (国際フロンティア研究システム 情報処理研究グループ・グループディレクター) | 脳と心 脳がつくられるしくみ 脳とコンピュータ —人工頭脳の実現に向けて— | 427名 |
| 第18回 (1996.11.25) 13:00~16:25 和光市民文化センター 「サンアゼリア」 | 上坪 宏道 (理事) 平尾 泰男 (科学技術庁・放射線医学総合研究所・所長) 矢野 安重 (サイクロトロン研・主任研究員) 谷畑 勇夫 (リニアック・主任研究員) | 重イオン科学への扉を開く がん治療における重粒子線への期待 理研サイクロトロン10年間の歩みと今後の展開 理研加速器研究施設における研究10年 | 355名 |
| 第19回 (1997.10.30) 13:00~17:00 ホテルサンガーデン姫路 | 上坪 宏道 (理事) 飯塚哲太郎 (生物物理化学・主任研究員兼理論構造生物学・主任研究員) 川合 真紀 (表面化学・主任研究員) | 21世紀の光「SPRING-8」 加速器の進歩から生まれた新しい生物学 —構造生物学研究— 原子・分子をあやつる | 331名 |
| 第20回 (1998.10.9) 13:00~16:45 横浜ロイヤルパーク ホテルニッコー | 和田 昭允 (ゲノム科学総合研究センター・所長) 林崎 良英 (ゲノム科学総合研究センター-遺伝子構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 榎 佳之 (ゲノム科学総合研究センター-ゲノム領域構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 横山 茂之 (ゲノム科学総合研究センター-タンパク質構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) | ゲノム科学総合研究と新しいセンターの役割 ゲノム科学と遺伝子エンサイクロペディアが切り拓く新しい世界 生命の設計図“ゲノム”を読む タンパク質の形と働きに基づくゲノムの理解 | 558名 |
| 第21回 (1999.10.26) 13:30~16:50 経団連ホール | 丸山 瑛一 (フロンティア研究システム・システム長) 国武 豊喜 (フロンティア:時空間機能材料研究グループ・グループディレクター) 鈴木 明身 (フロンティア:生体超分子システム研究グループ・グループディレクター) 江崎玲於奈 (ノーベル物理学賞受賞者・前筑波大学長) | フロンティア研究の新展開 材料研究の新しい動き —「時空間機能材料」研究とは何か— 情報認識・伝達の新しいしくみ —生体超分子システム研究の目指すもの— 〈特別講演〉 変革の時代 —科学者の歩んだ50年の道— | 635名 |
| 第22回 (2000.11.6) 14:00~17:10 パシフィコ横浜会議センター | 吉 良 爽 (横浜研究所長・副理事長) 和田 昭允 (ゲノム科学総合研究センター・センター所長) 林崎 良英 (ゲノム科学総合研究センター-遺伝子構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 横山 茂之 (ゲノム科学総合研究センター-タンパク質構造・機能研究グループ・プロジェクトディレクター) 榎 佳之 (ゲノム科学総合研究センター-ゲノム構造情報研究グループ・プロジェクトディレクター) 杉山 達夫 (植物科学研究センター・センター長) 豊島久真男 (遺伝子多型研究センター・センター長) | 横浜研究所について ゲノム科学総合研究センターの特徴と戦略 RIKEN Mouse Genome Encyclopedia Project タンパク質の構造と機能 ヒトゲノム全解読国際プロジェクト —理研GSCの役割と貢献— 植物科学研究センターの発足にあたって 遺伝子多型研究について | 689名 |
| 第23回 (2001.11.12) 13:30~17:00 東京国際フォーラム 「最先端のITが切り拓く科学技術」 | 牧野内昭武 (ものづくり情報技術統合化研究グループ・プログラムディレクター) 姫野龍太郎 (情報環境室・室長) 小長谷明彦 (ゲノム科学総合研究センター-遺伝子ネットワークモデル化研究チーム・チームリーダー) 戎崎 俊一 (情報基盤研究部・部長) | ものづくりのためのIT道具を創る —理研で始まったV-CADプロジェクト— 人体と流れのシミュレーションが拓く世界 ～血流から魔球まで～ ポストゲノム時代のバイオフィオマティクス ベタマシンで探るユニバース (森羅万象) | 283名 |
| 第24回 (2002.7.8) 14:00~17:30 神戸ポートピアホテル 「発生・再生研究が切り拓く世界—神戸研究所開所を記念して—」 | 竹市 雅俊 (発生・再生科学総合研究センター・センター長) 相澤 慎一 (ボディプラン研究グループ・グループディレクター) 近 藤 滋 (位置情報研究チーム・チームリーダー) 阿形 清和 (進化発生研究グループ・グループディレクター) 西川 伸一 (幹細胞研究グループ・グループディレクター) | 発生・再生とは? 動物の体造り 動物の模様つくる化学反応の波 切っても切ってもプラナリア —再生の不思議— 再生医学の夢 | 538名 |
| 第25回 (2003.10.30) 14:00~17:20 東京国際フォーラム 「なるほど! 脳の中身が見えてきた!」 | 利根川 進 (MIT Picower学習と記憶研究センター・センター長) 伊藤 正男 (脳科学総合研究センター・特別顧問 記憶学習機構研究チーム・チームリーダー) 甘利 俊一 (脳科学総合研究センター・センター長 脳数理研究チーム・チームリーダー) | 学習と記憶の機構 脳の設計図は果たして読めるのか —脳科学の夢— 21世紀の脳科学 | 1220名 |
| 第26回 (2004.10.20) 13:30~17:30 経団連ホール 経団連会館14階 「分子から始まる新しい科学」 | 藤 嶋 昭 (東京名誉教授/財団法人神奈川科学技術アカデミー・理事長) 鈴木 俊法 (理化学研究所中央研究所鈴木化学反応研究室・主任研究員) 鈴木 正昭 (岐阜大学大学院医学研究科・教授) 野良 良治 (理化学研究所・理事長) | 光触媒が活躍する 化学反応を探る —分子線とレーザーによる反応のスナップショット— 人の中の分子を見る 力量ある化学合成にむけて | 506名 |

| 日 時 | 講演者 | 講演題目 | 来聴者数 |
|---|--|---|-------|
| 第27回 (2005.10.11) 13:00~17:10 神戸国際会議場 3階国際会議室 「光がつなぐ『現在・過去・未来』」 | 北村 英男 (播磨研究所北村X線超放射線研究室・主任研究員) 樋口 隆康 (京都大学・名誉教授／(財)泉屋集古館・館長) 斎藤 通紀 (神戸研究所発生・再生科学総合研究センター哺乳類生殖細胞研究チーム・チームリーダー) 渡辺 恭良 (大阪市立大学大学院医学研究科システム神経科学・教授) | 夢の光：X線自由電子レーザー Spring-8による考古資料の活用：古鏡の研究 生殖細胞：全遺伝情報を刷新・継承する仕組みとは？ ポジトロン医学・分子イメージングの推進 | 216名 |
| 第28回 (2006.10.26) 13:30~17:00 丸ビルホール 「コンピュータ科学が導くひと、モノ、環境の未来像。」 | 茂木健一郎 (ソニーコンピュータサイエンス研究所・シニアリサーチャー) 泰地真弘人 (ゲノム科学総合研究センター背システム情報生物学研究グループ高速分子シミュレーション研究チーム・チームリーダー) 姫野龍太郎 (情報基盤センター・センター長／次世代スーパーコンピュータ開発実施本部開発グループ・グループディレクター) 茅 幸二 (和光研究所・所長) | 心を持ったコンピュータは実現可能か？ 世界最速の専用計算機MDGRAPGE-3とタンパク質のシミュレーション スーパーコンピュータによるシミュレーションと次世代開発プロジェクト 予測の時代の科学研究 | 391名 |
| 第29回 (2008.2.2) (2007年度) 13:00~17:30 丸ビルホール 「免疫が未来を開拓する」 | 石川 文彦 (免疫・アレルギー科学総合研究センターヒト疾患モデル研究ユニット) 斉藤 隆 (免疫・アレルギー科学総合研究センター・副センター長) 谷口 克 (免疫・アレルギー科学総合研究センター・センター長) 岸本 忠三 (大阪大学大学院生命機能研究科・教授) | 免疫系ヒト化マウスは医療革命の礎に 一分子を追跡し免疫の謎を解き明かす アレルギーは克服できるのか 自己免疫疾患の抗体療法 | 435名 |
| 第30回 (2009.2.28) (2008年度) 13:00~17:30 丸ビルホール 「人類社会と科学 ―健康を科学する―」 | 辨野 義巳 (バイオリソースセンター微生物材料開発室) 平井 優美 (植物科学研究センター代謝システム解析チーム) 中村 祐輔 (ゲノム医科学研究センター・センター長) 春日 雅人 (国立国際医療センター研究所・所長) | あなたの腸は何歳ですか？ ―大切な腸内環境コントロール― 野菜の健康機能成分を作る遺伝子を発見！ 患者さんに優しいオーダーメイド医療 肥満はなぜ体に悪いのでしょうか？ | 483名 |
| 第31回 (2009.12.5) 13:00~17:30 丸ビルホール 「人類社会と科学 ―国際ネットワークで感染症制圧を！―」 | 永井 美之 (感染症研究ネットワーク支援センター・センター長) 鈴木 陽 (東北大学大学院医学系研究科微生物学分野・助教) 林崎 良英 (オミックス基盤研究領域・領域長) 笹月 健彦 (国立国際医療センター・名誉総長) | 感染症に国境なし、感染症研究に国境あり 子どもを風邪から護る：フィリピン拠点での取り組み 新型インフルエンザの迅速検出に向けて 〈特別講演〉 感染症と発がん | 340名 |
| 第32回 (2010.10.9) 13:00~17:30 丸ビルホール 「人類社会と科学 ―低炭素・持続的社會を目指すグリーンイノベーション―」 | 篠崎 一雄 (植物科学研究センター長・社会知創成事業バイオマス工学研究・プログラムディレクター) 岩田 忠久 (東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専攻・准教授／社会知創成事業バイオマス工学研究プログラムバイオマス利活用研究グループ・客員主管研究員) 十倉 好紀 (基幹研究所物質機能創成研究領域・領域長) 相澤 益男 (内閣府総合科学技術会議議員) | 植物バイオマスがもたらす、地球にやさしい持続可能な社会 ―理研バイオマス工学研究プログラムの挑戦― 未来を拓け！環境にやさしいプラスチック 創・省エネルギーに向けて物理科学が実現する夢 〈特別講演〉 グリーン・イノベーション | 354名 |
| 第33回 (2011.11.26) 14:00~17:30 丸ビルホール 「人類社会と科学 ―脳とこころ―」 | 黒崎 政男 (東京女子大学文理学部哲学科・教授) 馬塚れい子 (脳科学総合研究センター言語発達研究チーム・チームリーダー) 片岡 洋祐 (分子イメージング科学研究センター細胞機能イメージング研究チーム・チームリーダー) 田中 啓治 (脳科学総合研究センター認知機能表現研究チーム・チームリーダー) | 〈特別講演〉 脳の解明は何を解明するのか 赤ちゃんのこぼの獲得から脳とこころにせまる あなたの疲れ、長く続いていませんか？ ―疲労を科学して見えてきたもの― エキスパートの直観を司る脳の仕組み | 約360名 |
| 第34回 (2012.9.29) 14:00~17:30 丸ビルホール 「人類社会と科学 ―躍動する知的好奇心」 | 野依 良治 (理事長) 橋本 幸士 (橋本数理物理学研究室・准主任研究員) 黒田 公美 (脳科学総合研究センター黒田親和性社会行動研究ユニット・ユニットリーダー) 田中 拓男 (田中メタマテリアル研究室・准主任研究員) | 〈特別講演〉 科学に国境はない。しかし、科学者には祖国がある 異次元宇宙と現実世界 愛着と子育て：親子関係を支える行動の脳内メカニズム メタマテリアル ―光を操り、光と遊ぶ | 356名 |

| 日時 | 講演者 | 講演題目 | 来聴者数 |
|--|--|--|------|
| 第35回 (2013.10.19) 14:00~17:30 丸ビルホール [理研百年へ 一未踏への挑戦] | 森田 浩介 (仁科加速器研究センター超重元素研究グループ・グループディレクター/九州大学理学研究院物理学部門基礎粒子系物理学・教授) 侯 召 民 (環境資源科学研究センター先進機能触媒研究グループ・グループディレクター) 高橋 政代 (発生・再生科学総合研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト・プロジェクトリーダー) | 新元素の探索 ー現代の錬金術ー 窒素分子を常温・常圧で切る ーより良いアンモニア合成法をめざしてー iPS細胞を用いた網膜細胞治療 | 338名 |
| 第36回 (2014.11.30) 14:00~16:50 東京コンベンションホール [理研百年へ 一受け継がれる理研精神] | 猪股 秀彦 (多細胞システム形成研究センター体軸動態研究チーム・チームリーダー) 肥山詠美子 (仁科加速器研究センター肥山ストレンジネス核物理研究室・准主任研究員) 平山 秀樹 (平山量子光素子研究室・主任研究員) | 濃度勾配のスケーリング ー生物の形を相似形にするメカニズムー ミクロな世界の3体・4体問題へのいざない 紫外線LEDの開発 ー殺菌・浄水、医療市場を目指してー | 212名 |
| 第37回 (2015.11.15) 14:00~17:05 丸ビルホール [理研百年へ ー科学の力ー] | 小安 重夫 (理事) 石田 康博 (創発物性科学研究センター超分子機能化学部門創発生体関連ソフトマター研究チーム・チームリーダー) 藤井眞一郎 (統合生命医科学研究センター免疫細胞治療研究チーム・チームリーダー) 矢橋 牧名 (放射光科学総合研究センターXFEL研究開発部門ビームライン研究開発グループ・グループディレクター) | 研究成果最大化に向けての取り組み アクアマテリアル：ほとんどが水でできた、究極のエコ材料 がんに立ち向かう免疫へかじ取りをする新しい薬を創る 未来をひらく新しい光 ーX線自由電子レーザー-SACLAー | 268名 |
| 第38回 (2016.11.3) 14:00~16:30 丸ビルホール [理研百年へ ー果てなき探求ー] | 小安 重夫 (理事) 玉尾 皓平 (グローバル研究クラスター・クラスター長研究顧問) 延與 秀人 (仁科加速器研究センター・センター長) 森田 浩介 (仁科加速器研究センター超重元素研究グループ・グループディレクター) | 理化学研究所の最新研究成果のご紹介 周期表から見た新元素 宇宙暦138億年にわたる元素創生 アジア初、日本発の新元素「ニホニウム」 | 303名 |
| (2017.1.22) 13:30~16:10 秋田県児童会館みらいあ 子ども劇場けやきシアター [理化学研究所科学講演会in秋田] | 小安 重夫 (理事) 辨野 義己 (辨野特別研究室・特別招聘研究員) 田中 拓男 (田中メタマテリアル研究室・准主任研究員) | 理化学研究所のご紹介 “腸内細菌”が健康寿命を決める！～大切な腸内環境コントロール～ メタマテリアルで何する？ | 238名 |
| (2017.2.5) 14:00~16:20 NBCビデオホール [理化学研究所科学講演会in長崎] | 有信 睦弘 (理事) 倉谷 滋 (倉谷形態進化研究室・主任研究員) 久保 充明 (統合生命医科学研究センター・副センター長) | 理化学研究所のご紹介 カメの起源は進化のトリック ゲノムでわかるあなたの医療 | 195名 |
| (2017.2.25) 14:00~16:20 高知城ホール [理化学研究所科学講演会in高知] | 小安 重夫 (理事) 古関 明彦 (統合生命医科学研究センター・副センター長) 渡辺 恭良 (ライフサイエンス技術基盤研究センター・センター長) | 理化学研究所のご紹介 三毛猫にみがないいわけ 疲労に克つ | 242名 |